

令和7年10月4日

<JH8CBH>

北海道新幹線開業10周年記念特別局について

1 なぜ記念局なのか

アマチュア無線を長くやっていらっしゃる方は、申し上げるまでもないのですが、若干復習をします。記念局には、特別局と特別記念局があります。両方とも「8J～」などで始まるプリフィックスが割り当てられます。特別局の中でも全国的規模のものを特別記念局としています。細かい規定はいろいろあるのですが、実際のところはほとんど変わりません。今回の新幹線は、特別局としての申請です。

なぜ、記念局を開設するのかというと、一つはその行事のPRです。もう一つは、たくさん呼ばれる特別局を利用して、アマチュア無線の楽しもう、通信技術を向上しようということです。

期間は1年以内となっておりますが、今回は短期勝負で3か月（1月1日～3月31日）を予定しております。

2 特別局を開設するには

(1)特別局を開設するには、JARLを通して、総合通信局に申請し、免許状をもらうことになります。申請は開設の3か月前までとなっております。

(2)前回の北海道ハムフェアの特別記念局は、北海道地方本部の方で、申請しましたので、私たちは、交信するのみでしたが、北海道新幹線については、私たちが自分で申請しなければなりません。もちろん地方本部と連携しながら、JARLを通して総通という流れは同じです。

(3)特別局を開設にするには、どんな書類や手続きがいるのでしょうか。

- ・お金については、支部費から充当できないことになっております。つまり免許申請料、QSLカード代は、寄付金によって賄われることになります。

- ・無線機ですが、やり方は2種類あります。1つは地方本部の無線機を使うことです。北海道地方本部には、JA8RLとJH8ZRLの2つの無線局があり、それぞれ、四アマ用と50W機があります。特別局の多くは、この無線機のコールサインが指定事項の変更と言うことで、特別局のコールになるわけです。

8J8HAM は、JA8RL の無線機を使いました。蔦屋は JH8ZRL のコールそのまま使いました。2 もう一つは、自前で無線機も用意するパターンです。市制 100 周年の時は、札幌、旭川、室蘭、函館で同時に特別局を開設しました。地方本部には 2 局分しかありませんので、函館は会員の協力で、自前で無線機を用意いたしました。今回の場合は、JH8ZRL が 8J8H5K になる予定です。

JA8RL は札幌雪祭りで同時期使われています。

・開設するための書類ですが、数年前、やたらと特別局のコールが増えた時代もありました。規制緩和と言うのでしょうか。JARL の局以外でも申請するば通ったものもありました。「〇〇クラブ〇周年」などという特別局もありました。2, 3 年前より総合通信局の審査が非常に厳しくなり（それぞれの総合通信局内で温度差はあるようです）しました。どれだけ公共性があるかということが厳しく審査され、同意書も、公共団体の長でなければ通りにくい時代となりました。そのほかに、体験運用をするのかどうか、特別局の運営日程、公開運用の場所なども詳しく書かなければならなくなりました。書類については、今まで作ったものを添付します。

今、早急にしなければならないことは、イベントの概要の情報の入手、運用場所の確保、運用日程の決定、同意書の入手です。

3 北海道新幹線開業 10 周年記念

北海道新幹線は、令和 8 年 3 月 6 日に開業 10 周年を迎えます。新函館北斗駅のある北斗市など沿線の市町では、新幹線期成会を組織し、開業 10 周年のイベントを行うことになっております。

アマチュア無線では、開業時に特別局 8J8H5K（H5K は、車両の H5 系から取った）を開設し、その P R に努めました。

今回の 10 年目の節目も、このコールサインで、開業の 10 周年を祝い、全国に P R したいと考え、本事業を進めることにします。

4 申請書類

この提出ができれば、まず、一安心です。そのためには、すぐ上に書いたような様々なことを一つ一つ足で稼いで決めていかなければなりません。

8 月 5 日に北斗市役所総務課企画係の藤川さんとお話してきました。北海道新幹線開業 10 周年イベントは、JR 北海道、そして北海道新幹線既成会が中心

となつて行われます。新幹線期成会の事務局は渡島振興局ですが、窓口としては、お会いした藤川さんで大丈夫ということでした。新幹線期成会には、沿線各地の首長が入っているので、そのメンバー表を付して申請すれば大丈夫かと思います。あわせていさりび鉄道も開業 10 周年ということで、イベントを考えているそうです。北斗市駅周辺のイベントはやることは決まっていますが、内容は未定です。イベントで駅周辺に場所を貸してくれることは約束していただきました。お盆過ぎに動きが始まるようですが、情報を集め、また、同意書をもらうことを勧めていかなければなりません。概ね好意的にとらえていただいております。

また、北海道新幹線は、新青森から新函館北斗までです。道内では、木古内町も運用地にしたいと思います。8 月 18 日 10:00 に JJ 8 MVL 佐々木さんの協力で駅周辺を当たってみます。役場にも寄ってみたいと思っています。

また、北海道新幹線の泊まる駅は、このほかに、津軽今別と新青森があります。この 2 箇所を含めて青森県での運用も考えております。北海道地方本部の局が 7 エリアに行つて大丈夫かという疑問もあろうかと思います。法的にももちろん問題なしで、過去にも実践例がり、こちらにも問題なしです。このことを青森県の岡田支部長にお話した所、好意的にとらえてくださいました。会議でも話に出してくださり、無線局のほとんどいない今別町での移動運用も何とかなりそうです。

ということで、一番の難関は、同意書、そして、イベントの概要をつかみ、申請書類に添付して提出することです。

5 運用

(1) 持ち回り

運用は、ハムフェア特別記念局のような流れになります。ハムフェアの時にはできませんでしたが、持ち回りということで、無線機をそれぞれのご自宅に持って行っていただき、そこから運用するというのも考えたいと思います。

もちろん、望洋塾を使つてのオンエアも機会もあろうかと思ひますし、また、後述するアワードの関係で、北斗市及び木古内町のみなさんにも積極的に持ち回りで運用していただければと思います。

これも過去の話ですが、持ち回り時に、特別局の無線機を使わずに、自分の無線機を使って交信する例も数多く見られました。最近の縄文特別局でも「馴

れない無線機を使うのは嫌だ。どうしても与えられた無線機でやれというなら、お断りします。」という方がいらっしゃいましたが、今はそのような時代ではないことを申し添えます。また、自分のコールと特別局のコールをごっちゃにして交信した例もありますが、もちろん、ご法度です。

(2)公開・体験

公開運用は、必ずしも体験運用を受け入れなければならないとはではありませんが、実際は、体験を受け入れられる環境が望ましいです。

公開運用としては、1月1日～3日の望洋塾での開局セレモニーと公開運用、1月11日の蔦屋、3月14日、15日の北斗市高齢者センター（TNX 清水さん、森井さん）、3月7日、8日の木古内駅付近公開運用（詳細未定）、3月21日、22日新函館北斗駅周辺（期成会のイベントもこの両日）が決まっています。

蔦屋は、実際電波を出すことができませんので、この間のように WIRES-X による運用になろうかと思えます。新函館北斗駅周辺の運用は、場所は確保できそうです。テントを張ってということになります。また、発発などが必要になろうかと思えます。

(3)青森での運用

青森県については、一定期間（2月3日～26日）お預けして、青森市及び今別町の運用を要望しながら、あとは、お任せしようと思っております。必要によっては、可能な範囲で、応援に行くことも考えたいと思います。

6 管理

(1)交信ログ

ログは、最終的に、ハムログで集約することにします。運用時に、紙に書く、書かないは任意です。とにかく紛失したり、データを飛ばしたり、なくしたりは避けなければなりません。

(2)機器の管理

人から人へ渡す時は、だれがだれに、いつ、どこで引き継ぐかを明確にすると共に、全てのものがあるか、確実に引き継げるように細心の注意を払うことが大切です。

(3)クレーム処理

やっぱり数ある中なので来ます。「何の記念局なのかアナウンスがない。」「オ

ペレータの名前の送出不い。」このへんまではいいのですが、ここには書けないようはこちら側に原因があるもの、また、全くこちらには落ち度のない理不尽なクレームも来ます。中には、直接、地方本部や総合通信局に通報されるものもあります。何かあったら必ず、責任者に報告する用意お願いしていただきます。

7 QSL について

おそらくカードの発行は数千枚になると思います。費用については約 1 万円を考えます。片面にコールや図柄、裏は白紙または、下半分に北海道新幹線開業 10 周年の説明を入れようかと思っております。

3 月末で、全交信局数が確定した時点で、発注したいと考えます。1 枚のカードに 5 交信までを記載できる方法とします。6 から 10 回までの交信局数の方は 2 枚になります。

カードのデザインは、公募しますが、趣味の団体のカードですので、できるだけボランティアでやってくれる方をお願いできたらと考えます。

8 アワードについて

アワードは、やったことのある方、ない方いらっしゃると思います。アワードとは、ある一定の条件の交信をし、QSL (HQSL もほとんどのアワードで可) を得るというものです (最近、QSL が必要なく、自己宣誓というものが多くなりました)。有名なのは JCC100 (全国の 100 の市と交信)、また、難関アワードとして、JARL 一万局賞 (全国の異なる 1 万局と交信し、さらに各バンド 3 つ以内で、12 組の全都道府県の QSL を得る) などというものもあります。

渡島檜山支部では、2021 年に北海道北東北の縄文遺跡群世界遺産登録に関わり、アワードを発行しました。その結果、900 以上の驚異のアワード発行を誇りました。「開局して初めてのアワードでした。」という声もたくさん聞きました。理由は申請のしやすさ、PDF は無料ということだったと思います。PR もがんばりました。CQ誌や JNでもページを割いて宣伝してもらうことができました。優しすぎず、また、絶妙な難しさが魅力と考えます。

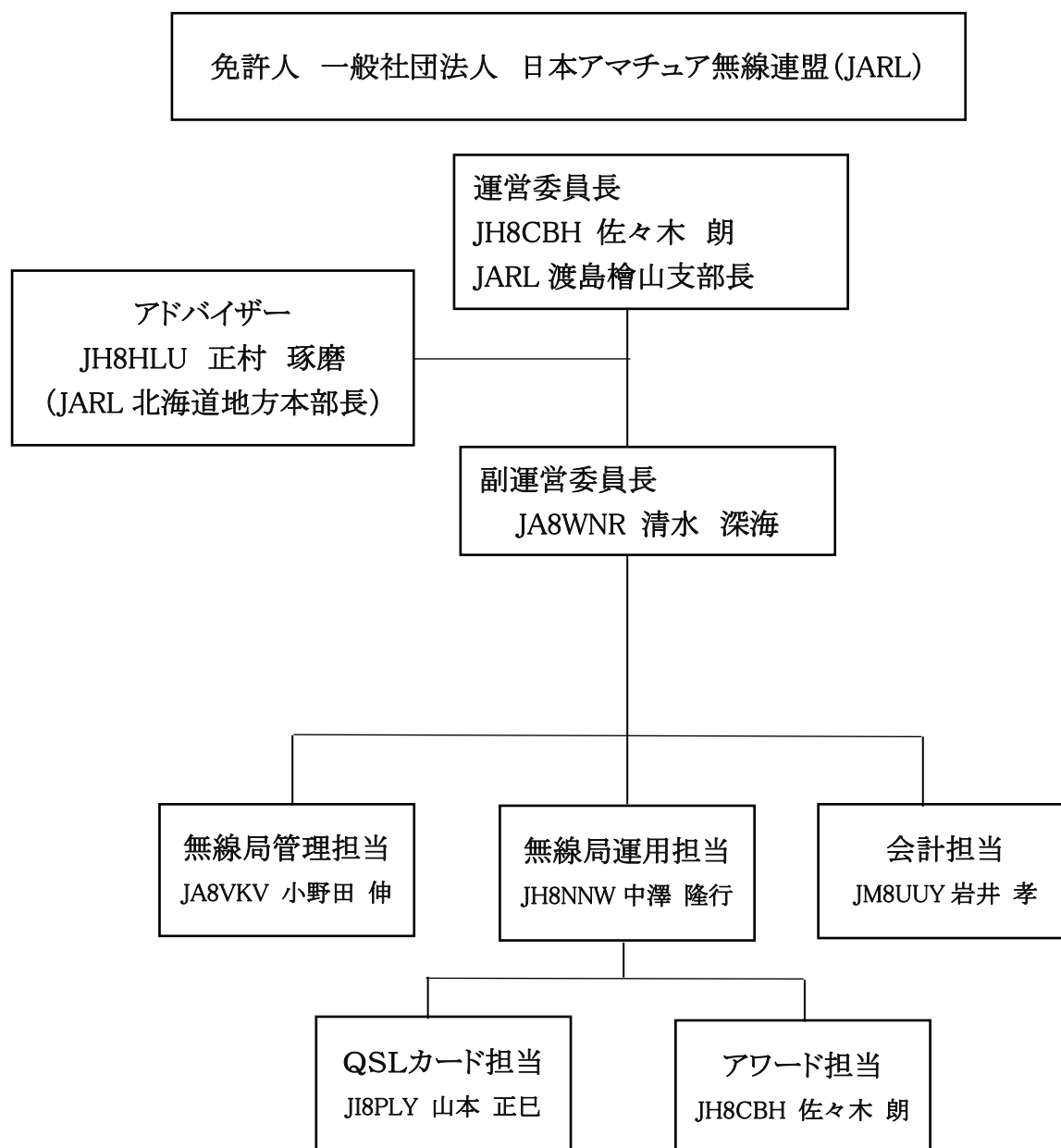
特別局の仕事としては、これが一番、時間的なエネルギーを使います。

最後に

事務的な仕事は、だいたい支部長の方で行います。組織を作っていくうえで、役員さんの名前も入れております。私の方でリーダーシップを執って参りますが、可能な範囲でお手伝いいただければと思います。

また、支部長に万が一の事故などがあっても、この事業が行き詰まることのないように情報共有をし、渡島檜山支部の活動を盛り立てていければと思っています。

北海道新幹線開業10周年記念特別局運営委員会組織図



- (1) 運営委員長は、特別局の運営全般(含む体験局運用)を統括、管理します。
- (2) 事務局は、運営全般の企画・調整を行います。
- (3) アドバイザーは、特別局の運営全般について助言を行います。
- (4) 無線局管理担当者は無線局の免許状及び無線設備の管理を行います。
- (5) 無線局運用担当は特別局の運営計画を統括し、円滑な運用を実行するとともに、安全管理を行います。
- (6) 会計担当は予算管理を適正に行います。
- (7) QSL カード担当は、QSL の発行・管理を行います。
- (8) アワード担当は、アワードの発行・管理を行います。

運用日程

	1 月		2 月		3 月	
1	木	開局セレモニー	日	持ち回り（支部管内）	日	持ち回り（木古内）
2	金	★望洋塾公開運用(函館市)	月	機器移動日	月	
3	土		火	持ち回り（青森県） JQ7ATB	火	
4	日		水		水	
5	月	持ち回り（北斗市） JA8WNR	木		木	
6	火		金		金	
7	水		土		土	★木古内町公開運用
8	木		日		日	★木古内町公開運用
9	金		月		月	持ち回り（木古内町）
10	土		火		火	
11	日	★鳶屋公開運用(函館市) JH8CBH	水	今別町移動運用	水	
12	月	持ち回り（木古内町） JA8WNR	木		木	
13	火		金		金	
14	水		土	青森市公開運用	土	北斗市高齢者C
15	木		日	青森市公開運用	日	北斗市高齢者C
16	金		月		月	持ち回り（北斗市）
17	土		火		火	
18	日		水		水	
19	月	持ち回り（支部管内） JH8CBH	木		木	
20	火		金		金	★木古内町公開運用 JH8CBH
21	水		土	今別町移動運用	土	★北斗市公開運用 JH8CBH
22	木		日	今別町移動運用	日	★北斗市公開運用
23	金		月		月	予備日
24	土		火		火	
25	日		水		水	
26	月		木		木	
27	火		金	機器移動日	金	
28	水		土	持ち回り（木古内町） JA8WNR	土	
29	木				日	
30	金				月	
31	土				火	閉局セレモニー

赤字は運用責任者

北海道新幹線開業 10 周年記念特別局収支予算案

(全体予算に対するもの)

	項	収 支 額	摘 要
収 入	連盟支出		
	寄付等	30,000	1,000 円×30 名
計		30,000	
支 出	免許申請手数料	0	
	Q S L カード費	15,000	印刷、送料、振込手数料 など
	事 務 費	3,000	事務消耗品購入
	通 信 費	3,000	切手代など
	ア ン テ ナ 部 材	0	
	公開運用諸経費等	5,000	公開運用諸準備（含体験 局）
	そ の 他	4,000	予備費として
計		30,000	

- (注) 1 連盟から支出の予算は、人件費として使用できません。
 2 本部費からの特別局、特別記念局への経費の支出は、認められません。
 3 支出項目に、Q S L カード代、通信費等を記入します。